

緩和ケアチームニュース

～内服できない患者さんの強い味方 ジクトル®テープ～

がん疼痛に適応がある、初のNSAIDsの貼付剤

ジクトル®テープは新たに発売された、NSAIDsのジクロフェナクの貼付剤です。

内服が難しい患者さんのがん疼痛に対して、有効な選択肢が増えました。

どんな良いところがあるの？

- 利点① **全身に効果を発現します**
 - ✓ 薬剤が血中に移行しますので、全身に効果を発現します。**疼痛部位に貼る必要はありません。**
- 利点② **1日1回**貼付することで、**効果が持続**します
 - ✓ 効果発現は1日後から見られ、3日目頃に安定します。
 - ✓ 血中濃度は7日目に定常状態となります。



ジクトル®テープ
(75 mg)

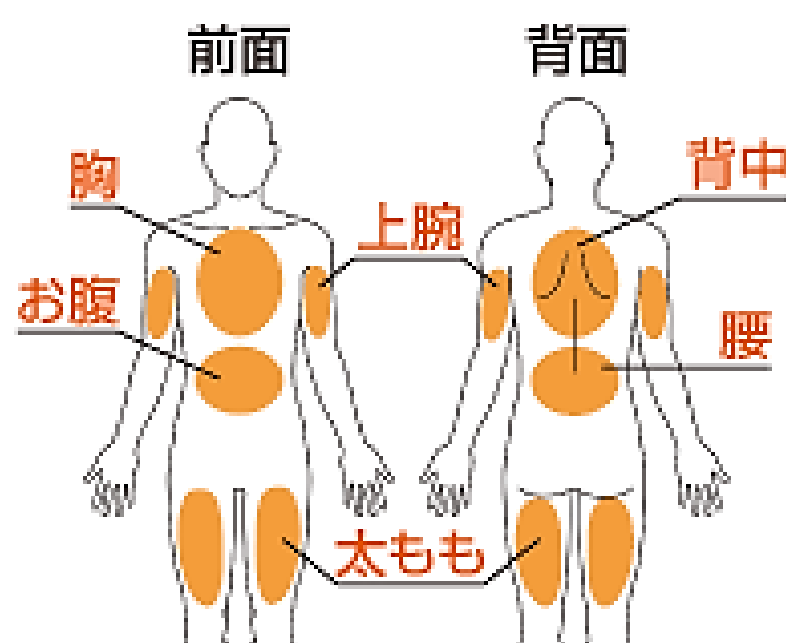


使い方のポイント

他のNSAIDsとの重複・過量投与が無いように注意しましょう

POINT① 投与量は、通常1日2枚（1日3枚まで増量可）

POINT② 貼付する場所は、下図のいずれかを選択



フェンタニル貼付剤と同じイメージです。
かぶれにくい場所を選び、
貼る場所は定期的に変えましょう



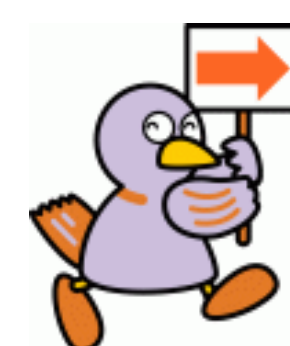
埼玉県マスコット「さいたまっち」

POINT③ 他のNSAIDsと同様、**NSAIDs潰瘍・腎障害**には注意

《おまけ》

当センターの緩和ケアマニュアル、クリニカルパス、オピオイド換算表、過去の緩和ケアニュースなどが
ダウンロード可能です。勉強会のお知らせも更新中！
緩和ケア科HPにアクセスしてみてください。

スマホで撮って
みてください



埼玉県マスコット「コバトン」

